

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、解説資料に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

7012

小学校第6学年
算数A 解答用紙

《ここから上には解答を書いてはいけません。》

1	(1) 1		(2)	$2.1 \div 0.7 = \boxed{\text{㉞} \quad 3}$		
				$\begin{array}{c} \downarrow 10 \text{ をかける} \\ \boxed{\text{㉟} \quad 21} \end{array} \div \begin{array}{c} \downarrow 10 \text{ をかける} \\ 7 \end{array} = \boxed{\text{㊱} \quad 3}$		
	(3) ㊱	37	㊲	1.3	㊳	48.1

2	(1) 897	(2) 4.95	(3) 20	(4) $\frac{2}{3}$
----------	---------	----------	--------	-------------------

3	(1) ㊴	>	㊵	<	(2) いちばん小さい数 7	いちばん大きい数 7.1
----------	-------	---	---	---	-------------------	-----------------

4	式	(例) $14 \div 8$
----------	---	-----------------

5	5		6	1	3	4
----------	---	--	----------	---	---	---

7	2, 3, 4, 5		8	2
----------	------------	--	----------	---

9	式	(例) $10 + 1 + 19$	答え	30 人
	(2) ㊶	100	㊷	120

《ここから下には解答を書いてはいけません。》

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、解説資料に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

2061

小学校第6学年
算数B 解答用紙

《ここから上には解答を書いてはいけません。》

1	(1)	㉗	8	㉘	10	㉙	80
		㉚	(例) 減った部分の面積は $2 \times 7 = 14$ で、 14cm^2 です。				
	(2)	㉛	(例) 増えた部分の面積は $5 \times 2 = 10$ で、 10cm^2 です。				
		㉜	(例) $14 - 10 = 4$ で、増えた部分の面積のほうが 4cm^2 小さいです。				

2	(1)	式	(例) $12 + 5 \times 3$	答え	27 m
	(2)	式	(例) $8.1 + 0.4 \times 4$	目標のタイム	9.7 秒
(3)	(例) 0.4や0.3は、ハードル1台あたりに増える時間であると考えられます。				

《ここから下には解答を書いてはいけません。》

学校名	組	男女	個人番号①	個人番号②

28
算B

※個人番号票を見ながら、1まずに1けたずつ、数字を書き写してください。

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、解説資料に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

2062

算数B

《ここから上には解答を書いてはいけません。》

3	ともみ	はるお	あかね
	(1) 3	1	2
<p>(例)</p> <p>厚紙の縦の長さは39cmです。正方形の1辺が9cmだから、 $39 \div 9 = 4$ あまり3で、正方形は縦に4個かくことができます。 (2) 正方形は、縦に4個、横に6個かくことができるので、 $4 \times 6 = 24$で、24個かくことができます。</p>			
(3)	2		

4	(1) 2	(2) 3
	<p>(例)</p> <p>5月から6月までの「物語」の貸出冊数は、A小学校が約400冊増えていて、B小学校が約300冊増えています。 (3) だから、A小学校に比べてB小学校のほうが、5月から6月までの「物語」の貸出冊数の増え方は大きくないです。</p>	

5	<p>(例)</p> <p>360は、1回転した角の大きさを表しています。 (1) 120は、①の角の大きさを表しています。 $360 \div 120$は、360°の角の中に、120°の角がいくつ入るかを計算している式です。</p>	
	(2)	3

《ここから下には解答を書いてはいけません。》